

第9回 新名神高速道路 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会 議事要旨

日 時：平成29年5月17日（水） 15:30～16:45

場 所：新大阪丸ビル別館 2階 2-3会議室

出席者：

出席委員）鎌田委員、小山委員、中瀬委員、西垣委員、布谷委員、服部委員

オブザーバー）鵜殿のヨシ原保存会 平城副会長、西村副会長

上牧実行組合 伊藤実行組合長、木村書記

（欠席：宮内庁式部職楽部 東儀首席楽長）

（欠席：国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所 桑島所長）

（欠席：高槻市 産業環境部 土井部長）

（欠席：雅楽師、皇學館大學特別招聘教授 東儀秀樹氏）

事業者）西日本高速道路株式会社

議 題：

1) 開会

2) 事業者挨拶

3) 出席者の紹介

4) 議事並びに説明事項

1. 第8回 検討会議事要旨の確認

2. 植物ワーキング（以下、「植物WG」）からの説明

植物WG事務局から、鵜殿ヨシ原の環境に関するモニタリング計画（案）について説明を行った。

鵜殿ヨシ原の環境に関するモニタリング計画（案）について [資料2](#)

- 第7回検討会および第8回検討会で提示した、「鵜殿ヨシ原区間の橋梁計画」と「筆筈用ヨシ採取エリアに配慮した施工計画（案）」および、第8回検討会での各委員のご意見を踏まえ、筆筈用ヨシを主体とした「鵜殿ヨシ原の環境に関するモニタリング（案）」について説明を行った。
- 今後のモニタリング体制としては、植物WGを終了し新たなワーキンググループを設置して、専門的なご意見をいただくことを提案。
- 今後のスケジュールとして、新たなワーキンググループでの第1回検討会を平成29年12月頃に開催し、以降、毎年6月頃の定期開催を予定していることについて説明。
- 各委員からは、以下のご意見および提案があった。
 - モニタリングの目的に関する明確な記載が無いため、これまでの調査内容とのつなが

りを報告書に記載した後にモニタリングに取り組まれない。

- 地下水流動の確認については、橋梁工事から離れた場所での地下水位調査を継続されたい。
 - モニタリングとは関係しないが、施工ヤードと資材ヤードの植生復旧にあたっては、今回の検討会での成果を活かしたヨシ原の再生を検討されたい。
 - 異常気象時の出水等、不測の事態が発生した際に、土砂堆積厚さ等の現況調査を早急に実施できる体制も検討されたい。
 - 施工段階の配慮事項である導水路通水機能の確保の観点から、工事期間中においても、導水路の揚水ポンプまでの安全な通路確保を願う。
- 植物WG事務局からは、以下のとおり回答した。
 - 報告書に、モニタリング内容とこれまでの調査内容との関連性が、わかるよう整理し記載してまいりたい。
 - 地下水流動の確認については、ご提案の通り橋梁工事から離れた場所での地下水位調査を継続してまいりたい。
 - 施工ヤードと資材ヤードの植生復旧にあたっては、ご意見を踏まえて、関係する河川管理者と協議・調整してまいりたい。
 - 突発的な調査実施にあたっては、対応できる体制を整えてまいりたい。
 - 揚水ポンプまでの通路については、安全性を十分に確保してまいりたい。

3. 検討会事務局からの説明

検討会事務局から、検討会規約の変更と新たなワーキンググループの規約制定について説明を行った。

検討会の規約変更およびモニタリングワーキンググループの規約制定について

[資料3-1、3-2](#)

- 検討会の継続的な実施を可能とするため、構成員の変更を可能とする規約変更について提案。
 - 新たなワーキンググループ「鵜殿ヨシ原の筆策用ヨシに関するモニタリングワーキンググループ」（以下、「モニタリングWG」という）の設置に関する規約およびモニタリングWGの構成員について提案。
 - モニタリングの結果については、WG構成員の確認を経て、HP等で公表することについて提案。
- 各委員からは、規約の変更およびモニタリングWGの規約に関して了承頂いた。
- ### 4. その他 報告事項（事務局より）
- 今後の検討会は、モニタリングWGの評価あるいは検証を踏まえて適宜、開催する他、工事の進捗状況を踏まえ開催を予定。
 - 「鵜殿ヨシ原における植物調査に関する報告書」のとりまとめを完了したため、植物WGを閉会する旨を説明。なお、得られた成果については、今回の委員の意見を反映した上で、HPや学会発表等を通じて公表する旨を説明。

以上